

5・6年生から

『馬と明日(あした)へ』(913ス)
杉本(すぎもと)りえ/作、結布(ゆう)/絵、ポプラ社



ここは地域(ちいき)の乗馬クラブ「しいの木ファーム」。少年少女は競技(きょうぎ)大会に向けて練習をしています。

この本では、練習の中で巻(ま)き起(お)こる楽しいことや辛(つら)いことが丁寧(ていねい)に描(えが)かれていて、グングン読み進められます。なかまたちで繰(く)り広げられるすがすがしい物語を馬が好きな人にも、そうでない人にも味わってほしい爽快感(そうかいかん)あふれる作品です。



お知らせ

桶川市電子図書館 (おけがわ し でん し と しょかん) 

図書館リョウカードとパスワードを持(も)っていて、桶川市内(しない)に住(す)んでいる人、桶川市内の学校(がっこう)に通(かよ)っている人、桶川市内ではたらいっている人が使(つか)えます。

図書館カレンダー

1月						
日曜	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
お休み	※12月29日(月曜)~1月3日(土曜)は、年末年始のため市内全館お休みです。					
お休み	※毎週月曜日、桶川・川田谷図書館はお休みです。					
おはなし会	桶川(おけがわ)図書館 (TEL 771-0303) 川田谷(かわたや)図書館 (TEL 786-8846) 毎週土曜日 午前10時30分~11時					
	坂田(さかた)図書館 (TEL 783-2150) 毎週土曜日 午前11時~11時30分					
	中央(ちゅうおう)図書館 (TEL 786-6353) 毎週土曜日 午後3時~3時30分					

☆これまでの「もりのくまさん」は、桶川市図書館のホームページ(図書館メニュー>児童(じどう)向け図書館だより もりのくまさん)から見(み)られます。



☆今月の「もりのくまさん」は小学生向(む)けです。

No. 4 | 3  もりのくまさん 
おけがわしとしょかん

2026年1月1日発行 桶川市図書館

☆今月の特集(こんげつのとくしゅう)☆

2026年の干支(えと)は、「午(うま)」です。そこで、今月は、「うま」の本を紹介(しょうかい)します。



馬(うま)が のぼる

『曲垣平九郎(まがきへいくろう) 出世(しゅっせ)の石段(いしだん)』(Eマ) 神田 伯山(かんだ はくざん)/監修(かんしゅう)、石崎 洋司(いしざき ひろし)/文、五十嵐 大介(いがらし だいすけ)/絵、講談社

曲垣平九郎は、徳川家光(とくがわいえみつ)の命(めい)により、愛宕山(あたごやま)の石段(いしだん)を馬(うま)で乗(の)りあがり、梅(うめ)の花(はな)を手(て)に入(い)れようとしてました。はたして平九郎(へいくわう)は186段(だん)の石段(いしだん)を乗りあがることのできるのでしょうか。



江戸時代(えどじだい)の実話(じつわ)を基(もと)にした講談(こうだん)絵本(えほん)です。

1・2年生(ねんせい)から

『チャーリー、こっちだよ』(Eチ)

キャレン・レヴィス／さく、
チャールズ・サントソ／え、
いわじょう よしひと／やく、BL出版

〈だれでもぼくじょう〉
でくらす ヤギのジャック。
このぼくじょうには、
心(こころ)やからだに
きずをおった どうぶつ
たちが やってきます。



ある日(ひ)、目(め)が
かたほうしか見(み)えない ウマのチャーリーが
やってきました。いつも ひとりでいた ジャック
ですが、おもいきって 声(こえ)をかけます。

「チャーリー、こっちだよ」

じつわをもとにえがかれた ゆうじょうの
ものがたりです。

『ガラスのうま』(913ソ)

征矢 清(そや きよし)／さく、
林 明子(はやし あきこ)／え、偕成社

すぐりは、家(いえ)の
かざりだなに在る ガラスの
うまと あそぼうとして、
うまのまえ足(あし)を おって
しまいます。テープで おれた
足を くっつけると、うまは
とつぜん はしりだしました。
あとをおいかけて、すぐりが
たどりついたのは……。



はたして すぐりは、ガラスのうまを
見(み)つけることが できるでしょうか。

3・4年生から

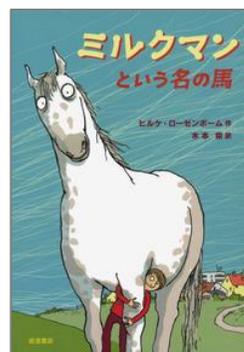
『ミルクマンという名の馬』(943ロ)

ヒルケ・ローゼンボーム／作(さく)、
木本 栄(きもと さかえ)／訳(やく)、岩波書店

ある朝、家の外に
巨大(きょだい)な馬が立って
いた。ひょっとして迷子(まいご)
になったの？

その馬に『ミルクマン』と名前
をつけたヘルマンは、
おとなたちからかくそうとする。
でも、家の中はむりだし、ガレージ
には穴(あな)をあけてしまう。おまけに、あやしい
男たちもうろついているみたい。

次(つぎ)の日、ミルクマンを学校につれて
行くと……。

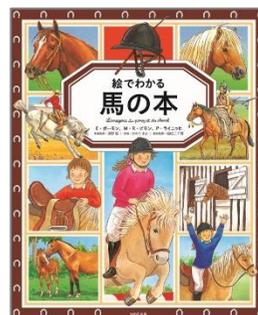


『絵でわかる馬の本』(645エ)

E・ボーモン／著(ちょ)、M・R・ピモン／著(ちょ)、
P・ライニツヒ／著(ちょ)、
深野 聡(ふかの さとし)／馬事監修
(ばじかんしゅう)、かのう きよ／訳(やく)、
稲松 三千野(いなまつ みちの)／
訳監修(やくかんしゅう)、WAVE 出版

この本は、馬についていろいろな
ことを知ることができます。馬の
なかま、生まれてから大きくなる
までのこと、馬の乗(の)りかた、
人と馬のかかわりなど、たくさんの
絵といっしょに分かりやすく
書かれています。馬について
知りたい、馬となかよくなりたと思ったら、
ぜひ読んでみてください。

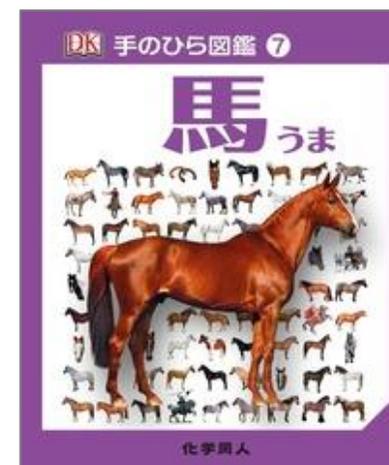
読んだら、馬に乗りたくなるかも！



5・6年生から

『手のひら図鑑(ずかん) 7 馬』(408テ7)

キム・デニス-ブライアン／監修(かんしゅう)、
伊藤 伸子(いとう のぶこ)／訳(やく)、化学同人



馬は足が速く、持久力(じきゅうりょく)があり、
昔から人間にとって大事な動物でした。

世界中に生息する大きな馬から かわいらしい
ポニーまで、色や模様(もよう)、原産国や大きさ
などを分かりやすい解説(かいせつ)とカラフルな
写真で紹介(しょうかい)しています。

躍動感(やくどうかん)あふれる馬の姿(すがた)を
図鑑で感じてみませんか？

